

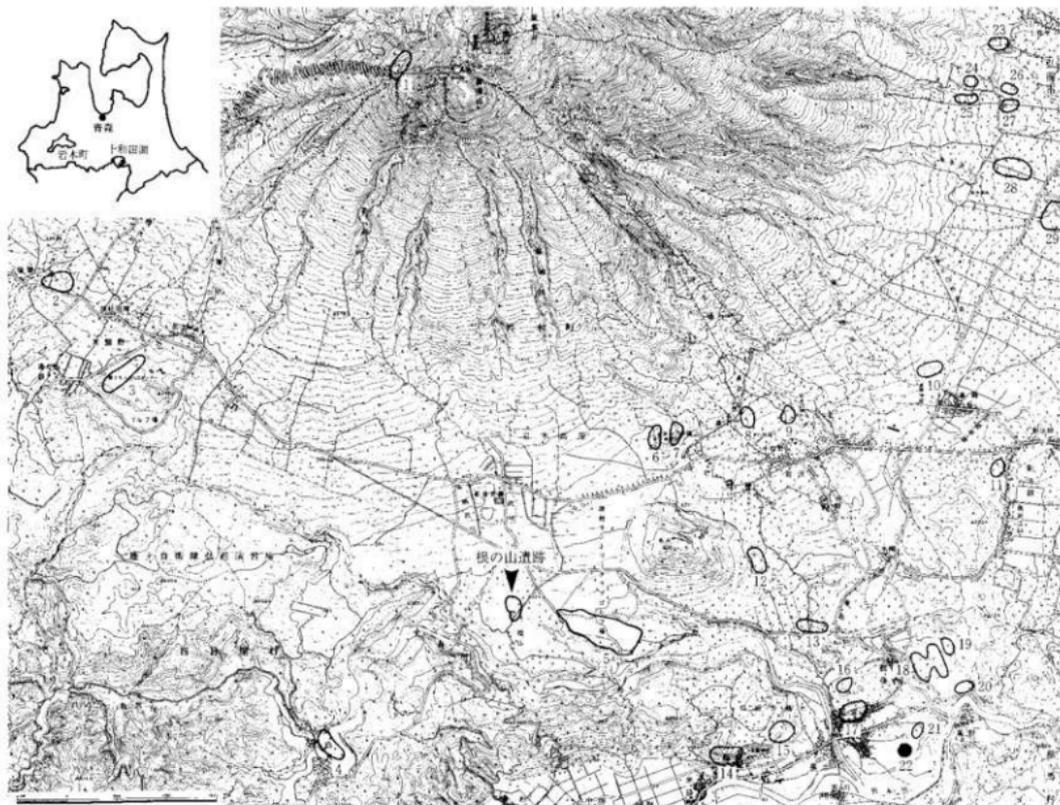
青森県埋蔵文化財調査報告書 第228集

根 の 山 遺 跡

－ ふるさと農道緊急整備事業に伴う遺跡発掘調査報告 －

1998年3月

青森県教育委員会



第1図 遺跡の位置と周辺の遺跡

第3章 遺跡の環境

第1節 基本層序

本調査区は、岩木山を水源とする平沢川の南側段丘面頂部から北側の緩斜面に位置し、調査区内において堆積状況に若干の違いが認められる。段丘面頂部付近は比較的堆積土が薄く、緩斜面部は傾斜に従い層厚を増す。第2図は、発掘調査区北側緩斜面の層序を示している。Ⅲ層が2分される状況はこの区域に限るものであって、遺跡全体を包括しているものではない。以下、各層について記述する。

(佐々木雅裕)



第2図 基本層序

第2節 遺跡の位置と周辺の遺跡

根の山遺跡は青森県の西部に位置する岩木町に所在する。岩木町は津軽地方の中心都市である弘前市の西隣にあり、人口約12,000人程で、リンゴと米の産地でもある。町の西端には、津軽のシンボルである「霊峰岩木山」（標高1,625m）がそびえ、岩木山神社、高照神社など津軽藩ゆかりの古社などが多い。岩木山に詣でる行事は、国の重要無形民俗文化財に指定されている。

根の山遺跡は、岩木山麓の南斜面、標高約220mにあり、遺跡の北・南には、岩木山からの雪解け水が流れる小川がある。遺跡の部分は周辺より数メートル高くなっており、比較的水はけ、日当たりは良好であったと思われる。遺跡周辺は、現在はほとんど水田となっており、遺跡部分に祠があったため、周辺の林と共に、かろうじて開田から免れ、現在まで残ったものと思われる。

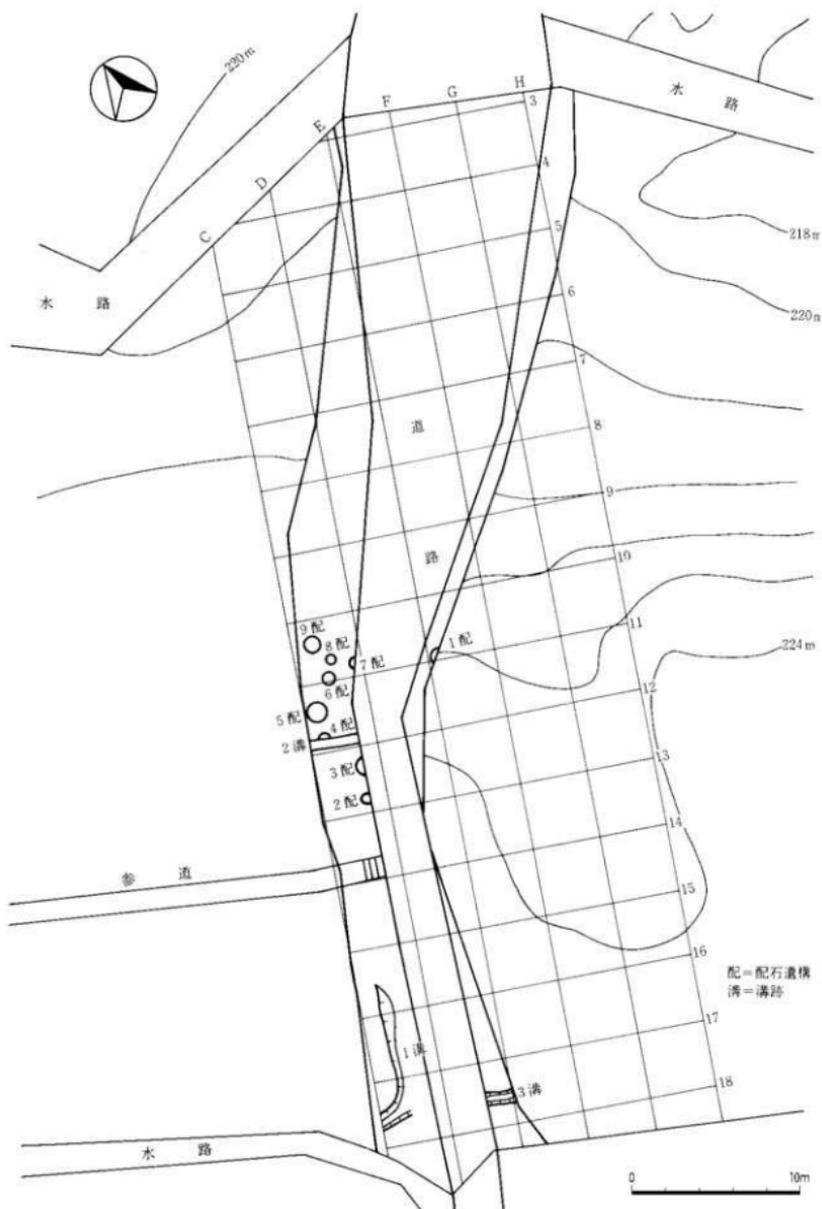
遺跡は昭和30年代に青森県教育委員会が全県下、一斉の行った遺跡分布調査の際、戸沢氏によって発見されたものである。その際の調査カードに添えられた写真には、先の祠の中に大型の石棒が5、6点「御神体」のように納められている場面が写っている。その他、大型の扁平な石も見られるが、今回の発掘調査で出土した配石遺構の用いられた石の同類のものと考えられる。

岩木町内には、現在のところ27カ所の遺跡が確認されている。その多くは岩木山麓に所在し、時代的には、縄文時代の後期・晩期がもっとも多く、ついで中世の館跡が多い。岩木町の遺跡に考古学メスが初めて入ったのは、昭和30年代中頃に岩木山麓のパイロット事業の実施に先立つ、大規模な発掘調査である。このときに発掘調査が行われた遺跡は、湯の沢・薬師・常盤野・小森山東部・寺沢・小森山西部・岩木山神社元宮・一本木沢などである。その後、しばらくブランクがあり、昭和50年代半ば、荒神山遺跡の発掘調査が村越潔氏らによって行われた。

また、平成5・6年度には、弘前市教育委員会によって東岩木山（2・3・5）遺跡、山田遺跡の試掘調査が行われている。平成7年度には岩木町教育委員会（発掘担当若者西励氏）によって、大浦城に初めて考古学的メスが入った。
（相馬 信吉）

周辺の遺跡一覧

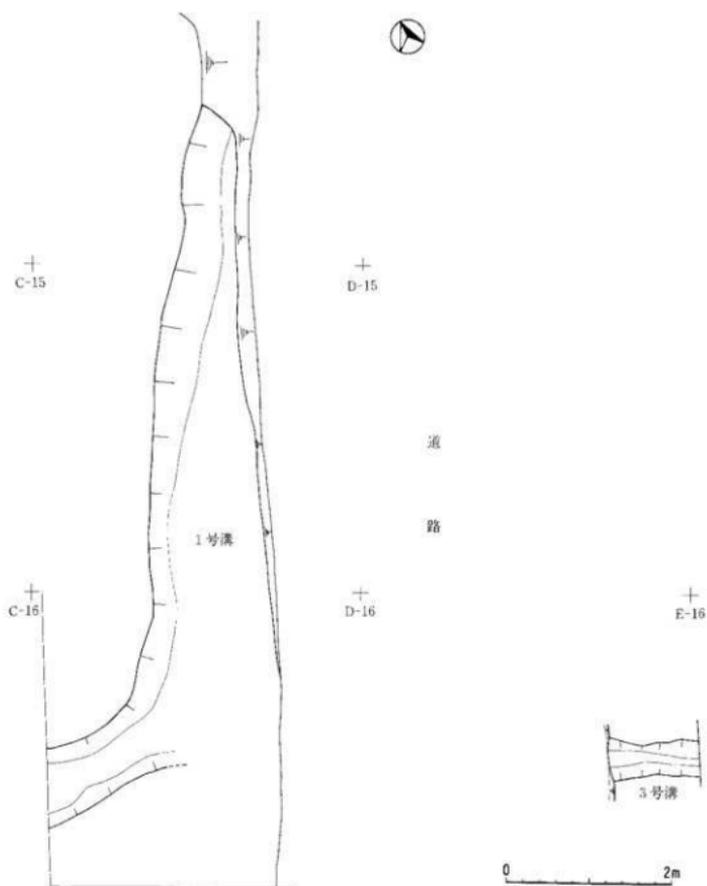
番号	遺跡名	所在地	時代	種別
1	カラカ遺跡	岩木町常盤野	中世	館跡
2	上黒沢遺跡	岩木町常盤野字上黒沢	平安	散布地
3	常盤野遺跡	岩木町常盤野字湯段菰	平安	集落跡
4	白沢館遺跡	西日屋村白沢字山内	中世	館跡
5	山田遺跡	岩木町常盤野字山田	縄文	散布地
6	小森山西部遺跡	岩木町百沢字東岩木山	縄文(後)	散布地
7	小森山東部遺跡	岩木町百沢字東岩木山	縄文(後・晩)	散布地
8	寺沢遺跡	岩木町百沢字寺沢	縄文(後・晩)	散布地
9	木山神社元宮遺跡	岩木町百沢字寺沢	縄文・平安	散布地
10	獅子沢遺跡	岩木町百沢字獅子沢	平安	散布地
11	新法師経塚遺跡	岩木町新法師字泉	不明	経塚
12	小松野遺跡	岩木町百沢字小松野	縄文(後)	散布地
13	平見傍遺跡	岩木町百沢字掘野	縄文・平安	散布地
14	桜庭館遺跡	弘前市桜庭	中世	館跡
15	黒土館遺跡	弘前市黒土	縄文(後)・中世	散布地・館跡
16	稲荷館遺跡	弘前市国吉字坂本	中世	館跡
17	山伏館遺跡	弘前市国吉	縄文(後)・中世	散布地・館跡
18	坂本館	弘前市国吉字坂本新田	中世	館跡
19	国吉館遺跡	弘前市国吉字坂本新田90	縄文(後)・中世	散布地・館跡
20	高野館遺跡	弘前市国吉字耕田28	縄文(後)・中世	散布地・館跡
21	古屋敷	弘前市国吉字村本	中世	館跡
22	国古板碑群遺跡	弘前市国吉字村本247	平安	祭祀
23	東岩木山(1)遺跡	岩木町百沢字東岩木山	縄文	散布地
24	東岩木山(2)遺跡	岩木町百沢字東岩木山	縄文・平安	散布地
25	東岩木山(3)遺跡	岩木町百沢字東岩木山	縄文	散布地
26	東岩木山(4)遺跡	岩木町百沢字東岩木山	縄文	散布地
27	東岩木山(5)遺跡	岩木町百沢字東岩木山	縄文	散布地
28	一本木沢遺跡	岩木町百沢字東岩木山	縄文(後)	集落跡
29	薬師遺跡	岩木町新岡字片付	縄文(前・中・後・晩)	墳墓



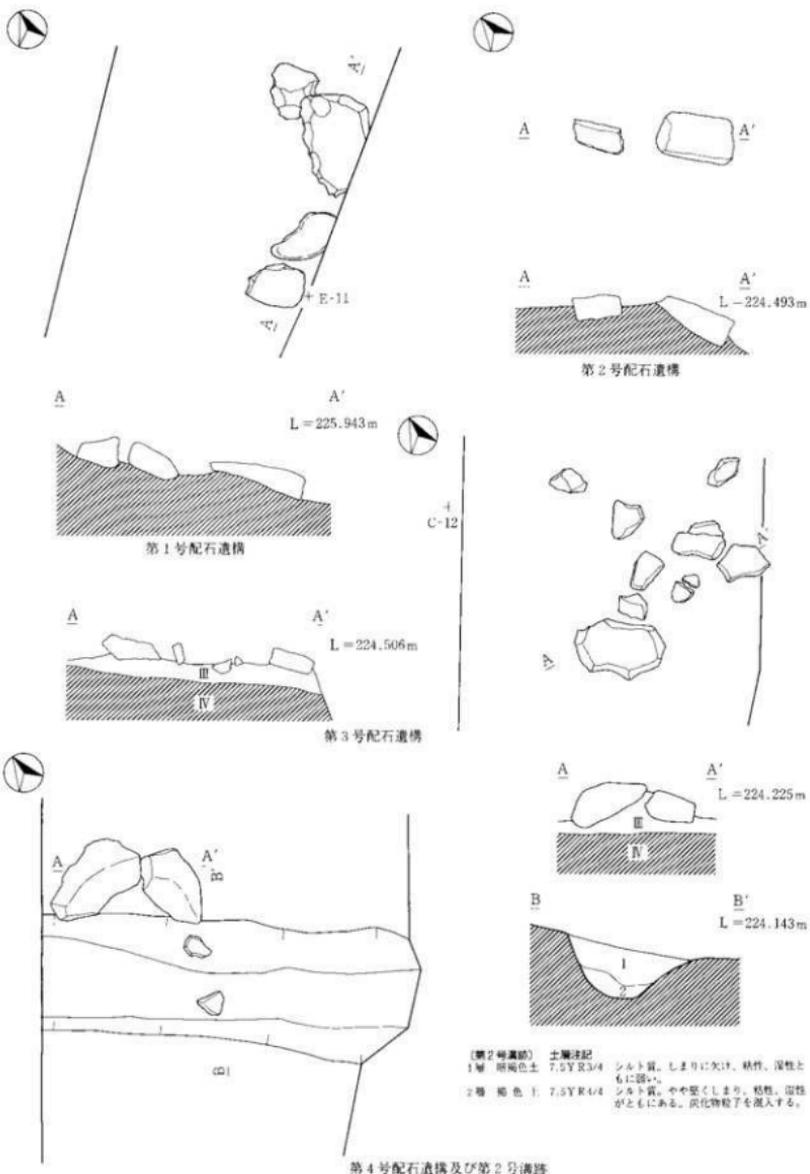
第3図 グリッド及び遺構配置図



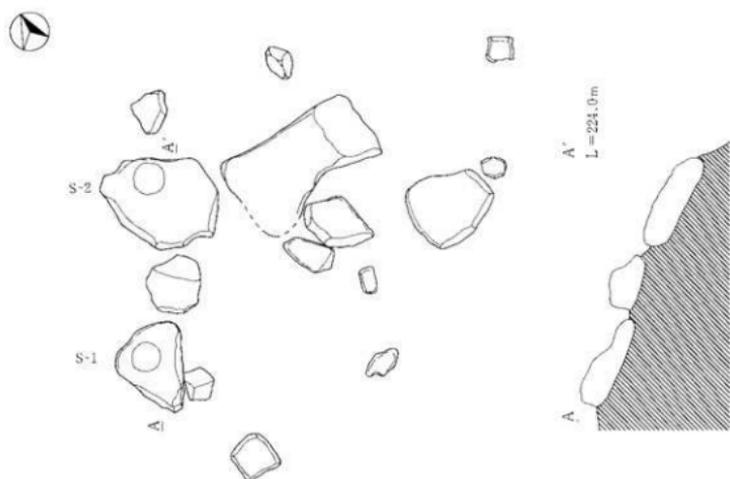
第4图 北地区遺構配置圖



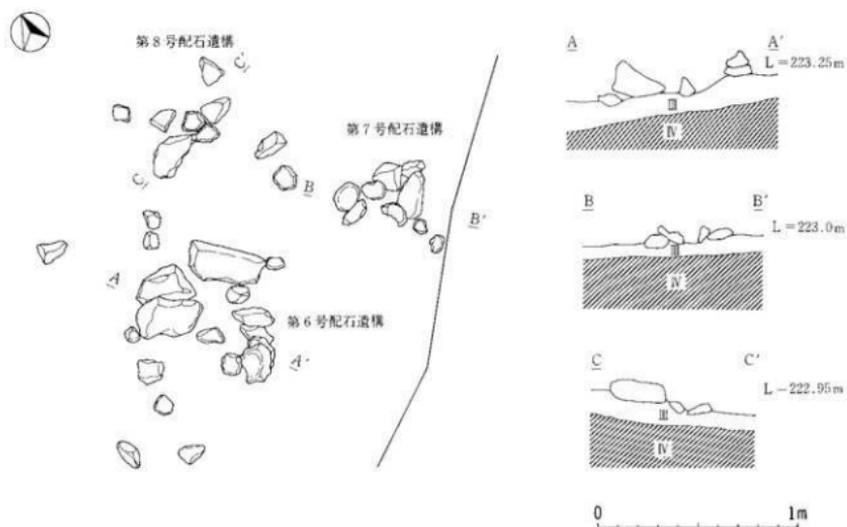
第5図 南地区遺構配置図



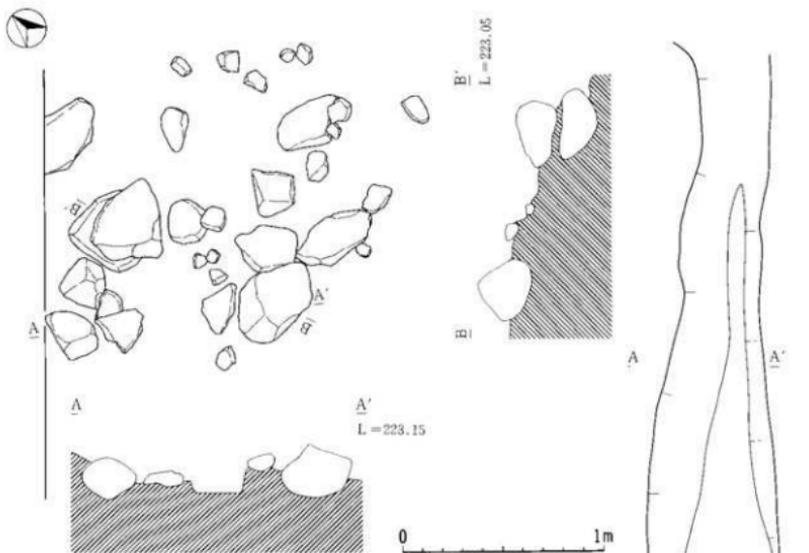
第6図 第1・2・3・4号配石遺構及び第2号溝跡



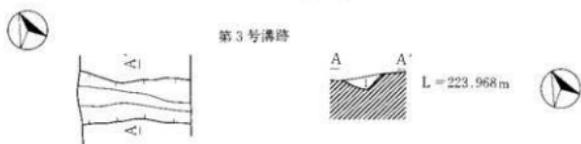
第5号配石遺構



第7図 第5・6・7・8号配石遺構



第9号記石遺構



第3号溝跡

【第3号溝跡】 土層注記
1層 暗褐色土 10Y R3/4 シルト質、粘土が非常に多く、しまりに欠ける。粘性、塑性ともに弱い。

第1号溝跡



【第1号溝跡】 土層注記

1層 褐色土 10Y R3/1 シルト質、ややしまりに欠け、粘性、塑性ともに弱い。炭化物粒子をわずかに含む。
2層 暗褐色土 10Y R3/4 シルト質、粘性、塑性がともにあり、炭化物粒子、焼土粒子を多量に混入する。部分的に焼土ブロックを含む。
3層 1: ぶい 10Y R5/4 シルト質、粘性がともに強く、炭化物粒子を多量に混入する。ロームブロックを多量に含む。
2層 黄褐色土

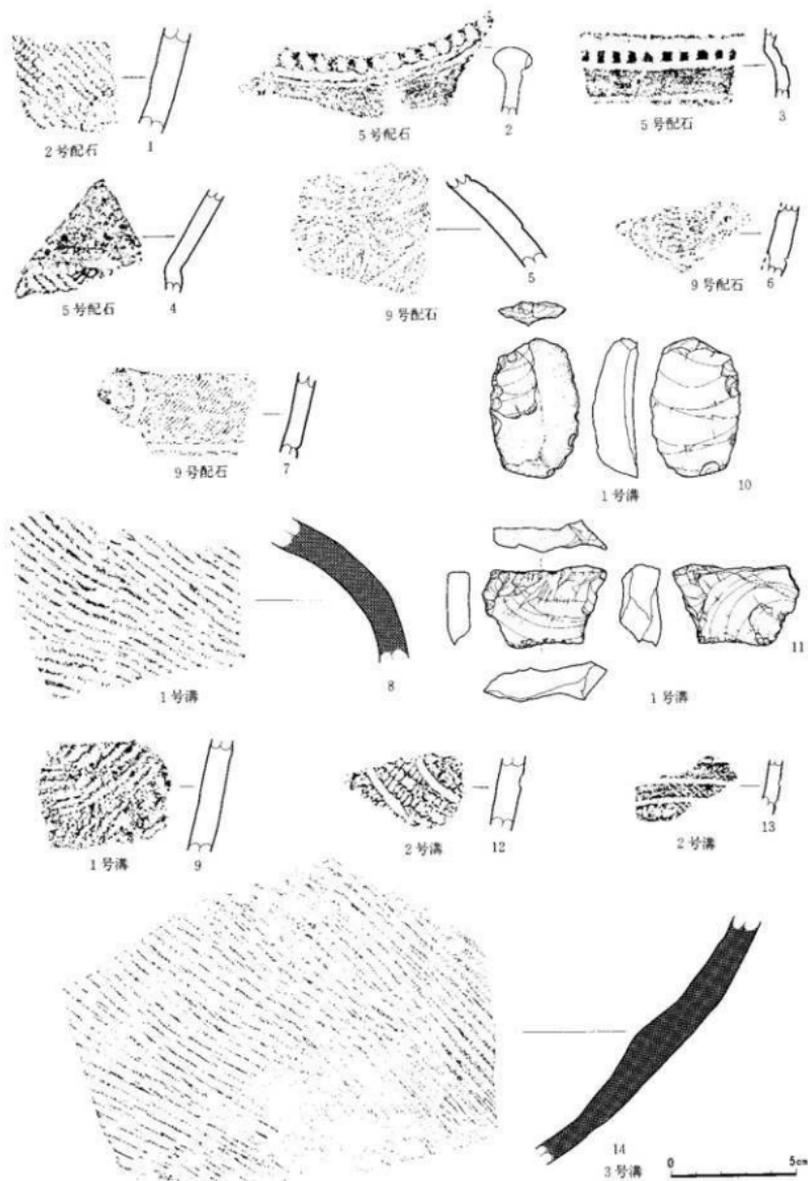
+ C-16

+ C-17

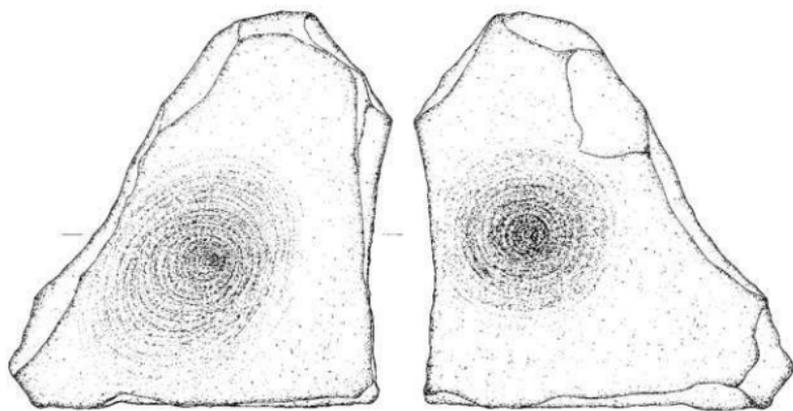
第1号溝跡

0 (第1号溝跡のみ) 2m

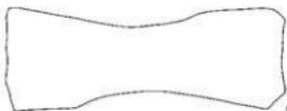
第8図 第9号記石遺構及び第1・3号溝跡



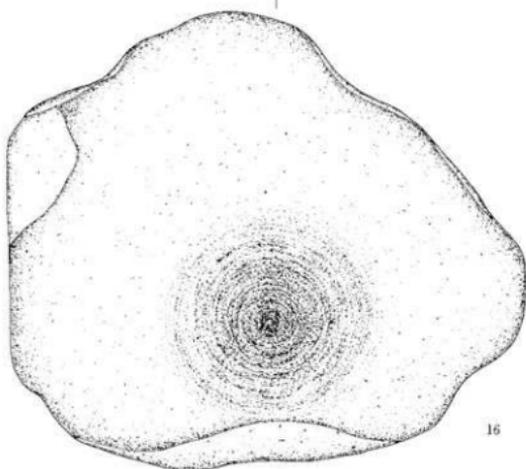
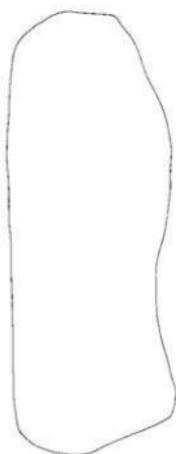
第9图 遺構内出土遺物(1)



15



5号配石

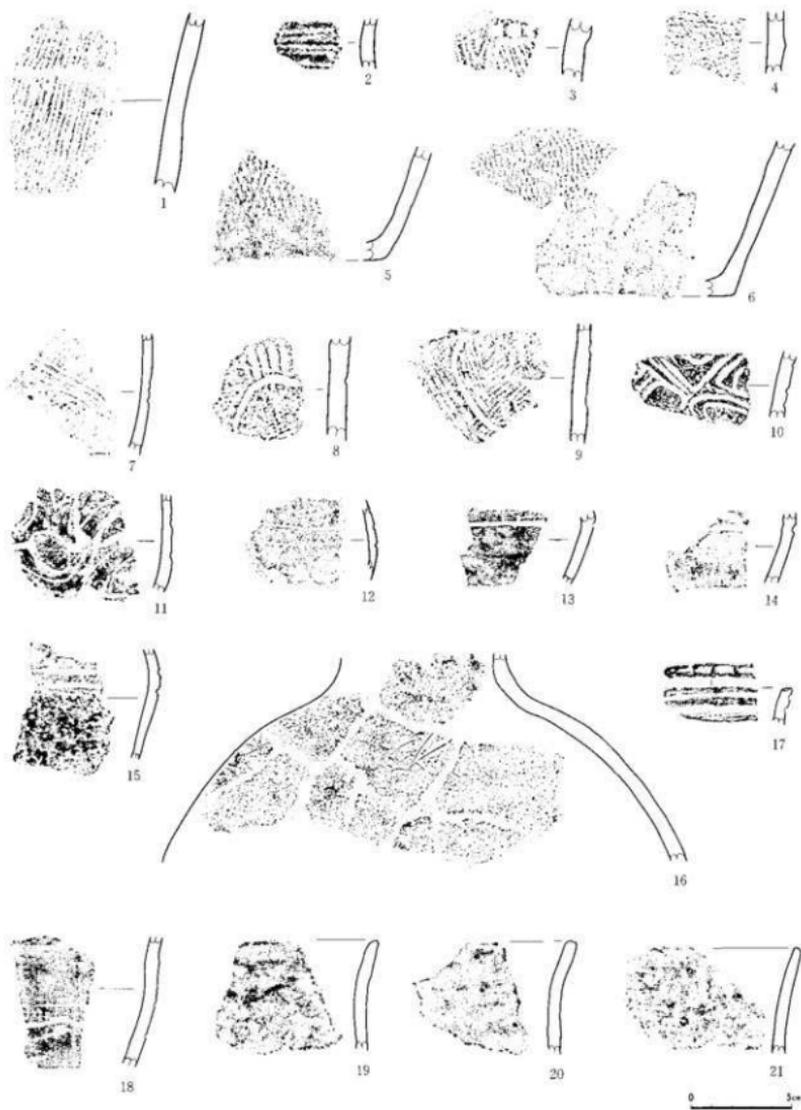


16

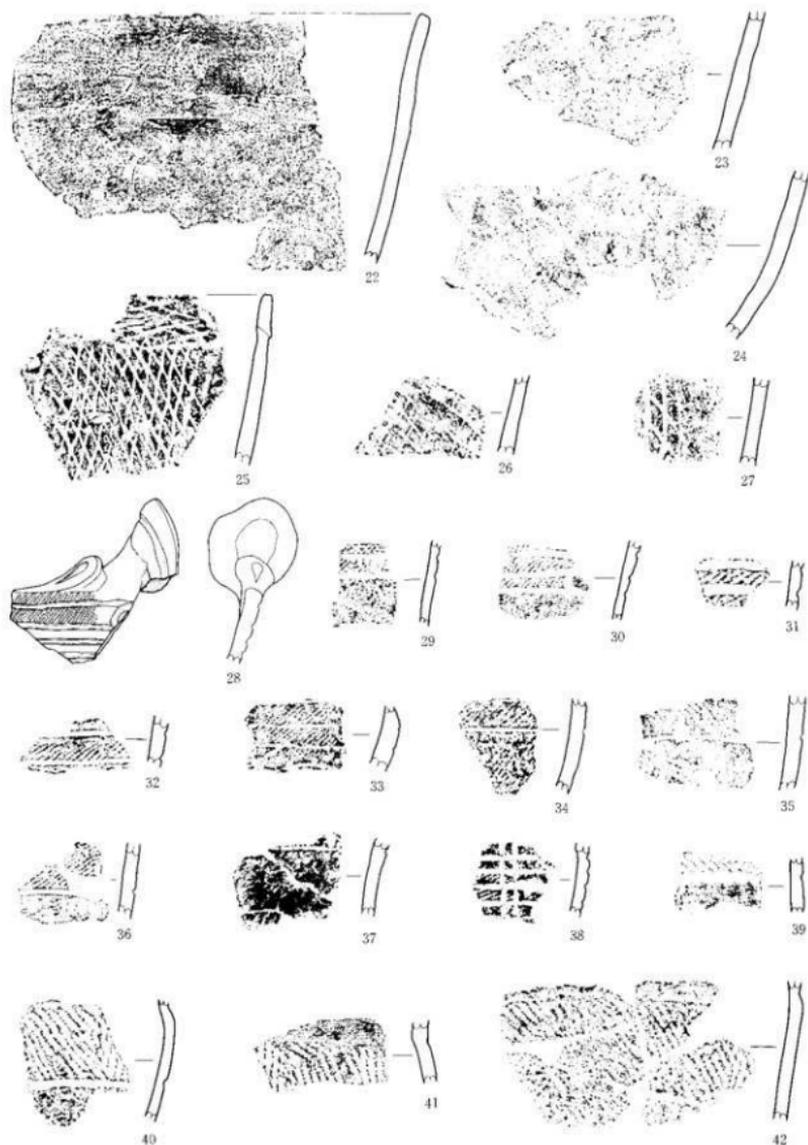
5号配石



图10 遺構内出土遺物(2)

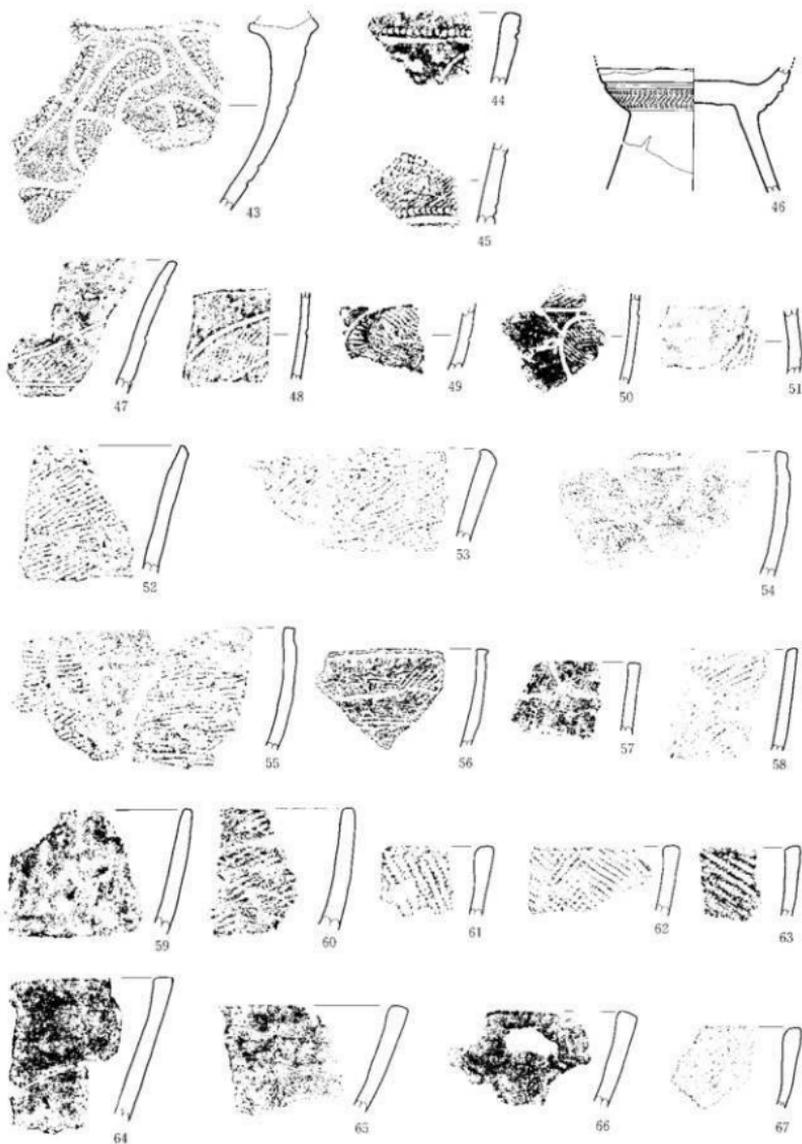


第11圖 遺構外出土遺物(1)

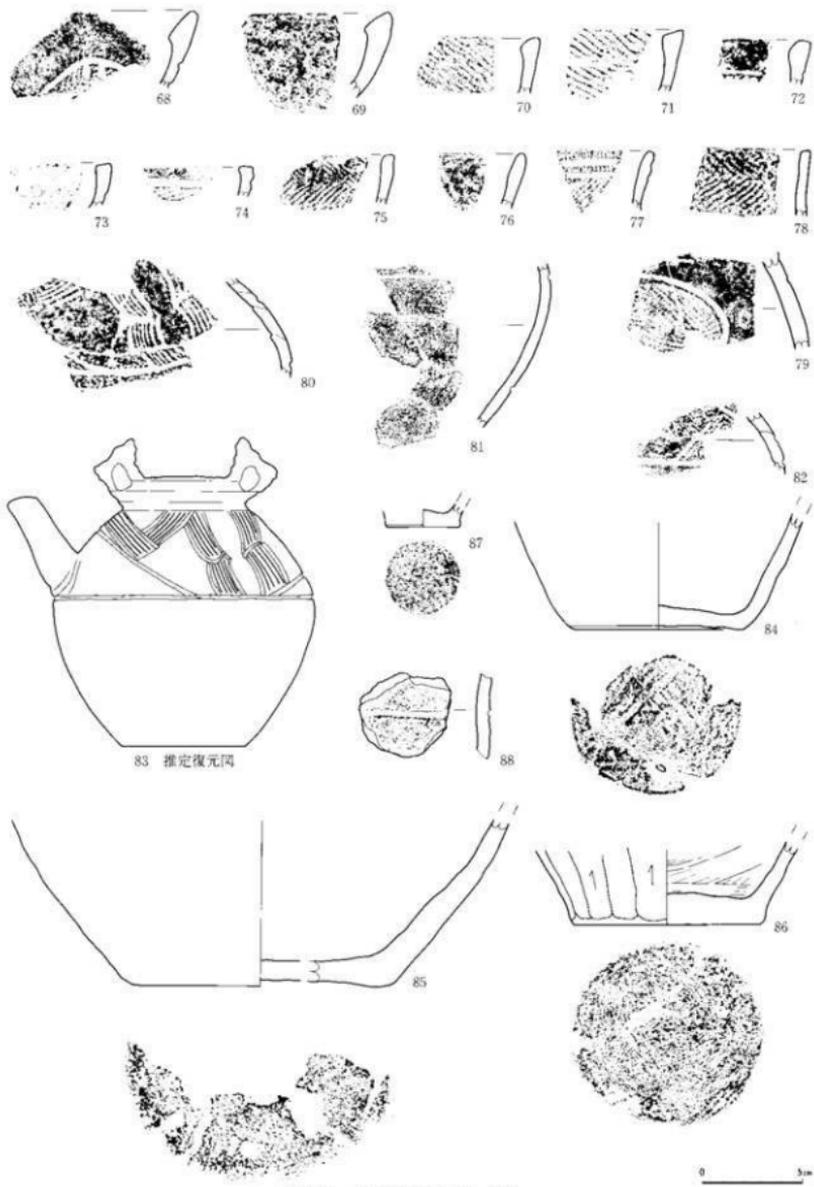


第12图 遺構外出土遺物(2)

0 5cm



第13図 遺構外出土遺物(3)

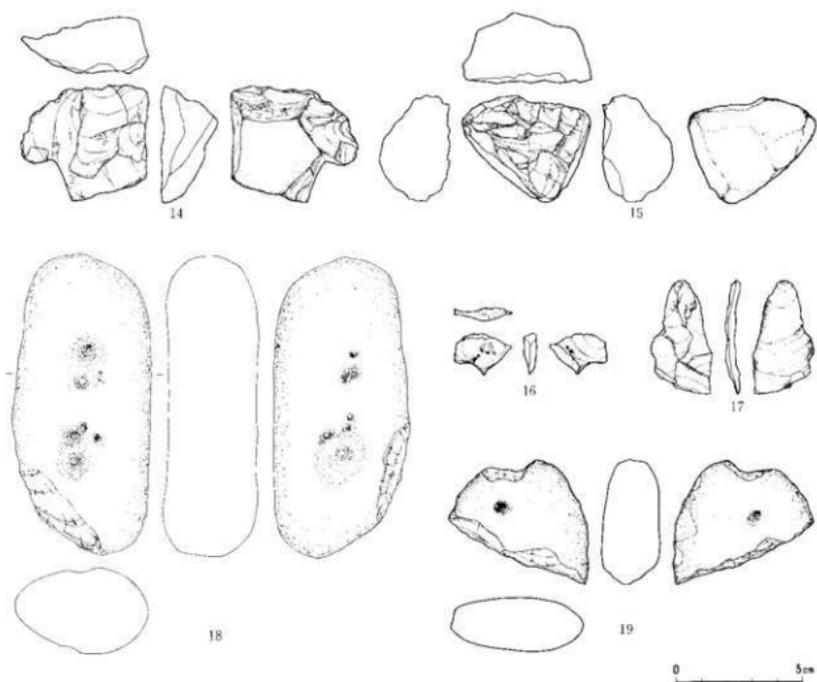


第14図 遺構外出土遺物(4)



0 5cm

第15図 遺構外出土遺物(5)



第16図 遺構外出土遺物(6)



遺跡遠景（南から）



遺跡遠景（北から）



作業風景



基本層序



配石遺構群



第1号配石



第2号配石



第3号配石

写真1 遺跡遠景・基本層序・配石遺構



第4号配石



第5号配石



第6号配石



第7号配石



第8号配石



第9号配石



第1号溝跡



遺物出土状況

写真2 配石遺構・溝跡・遺物出土状況

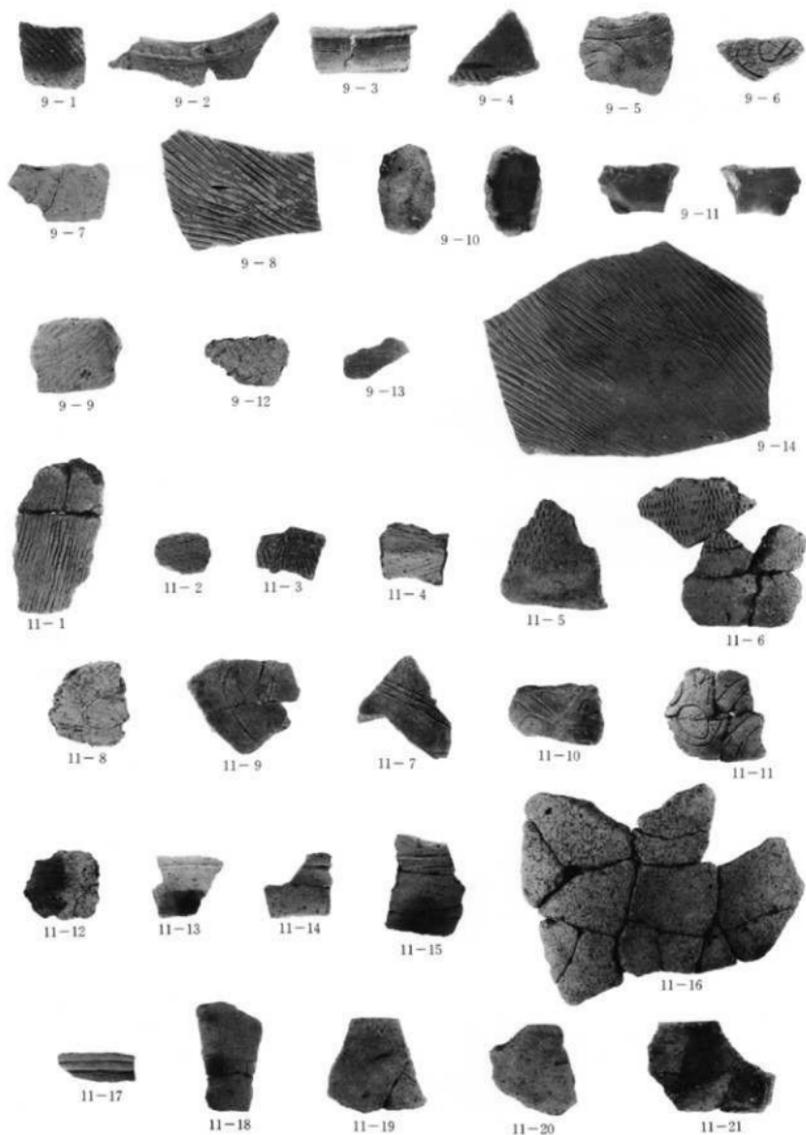


写真3 出土遺物(1)

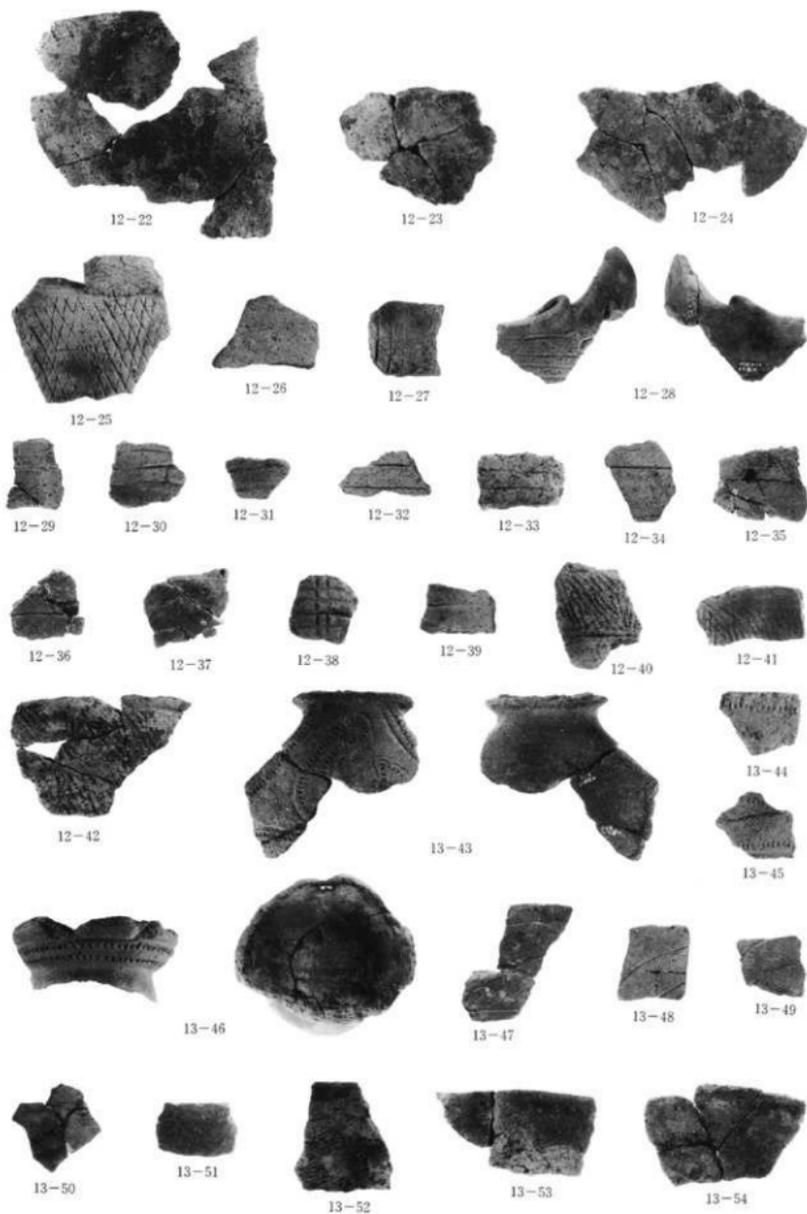


写真4 出土遺物(2)

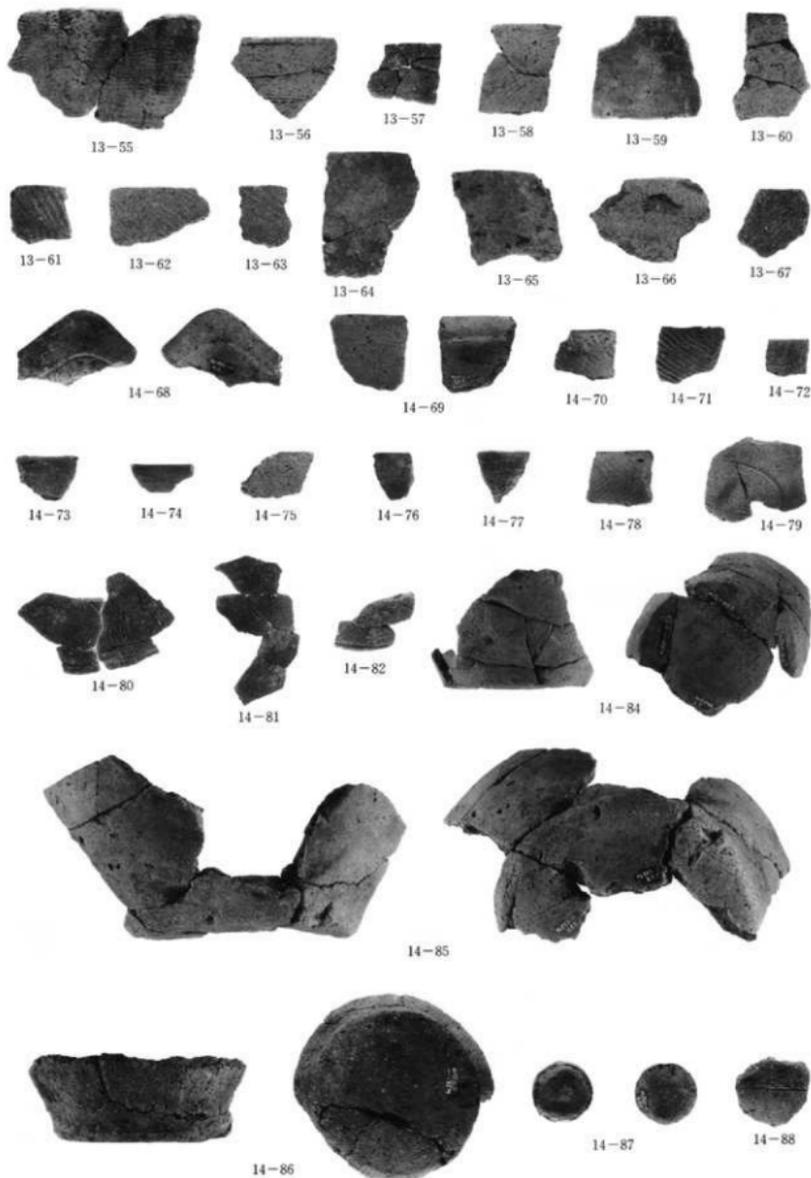


写真5 出土遺物(3)

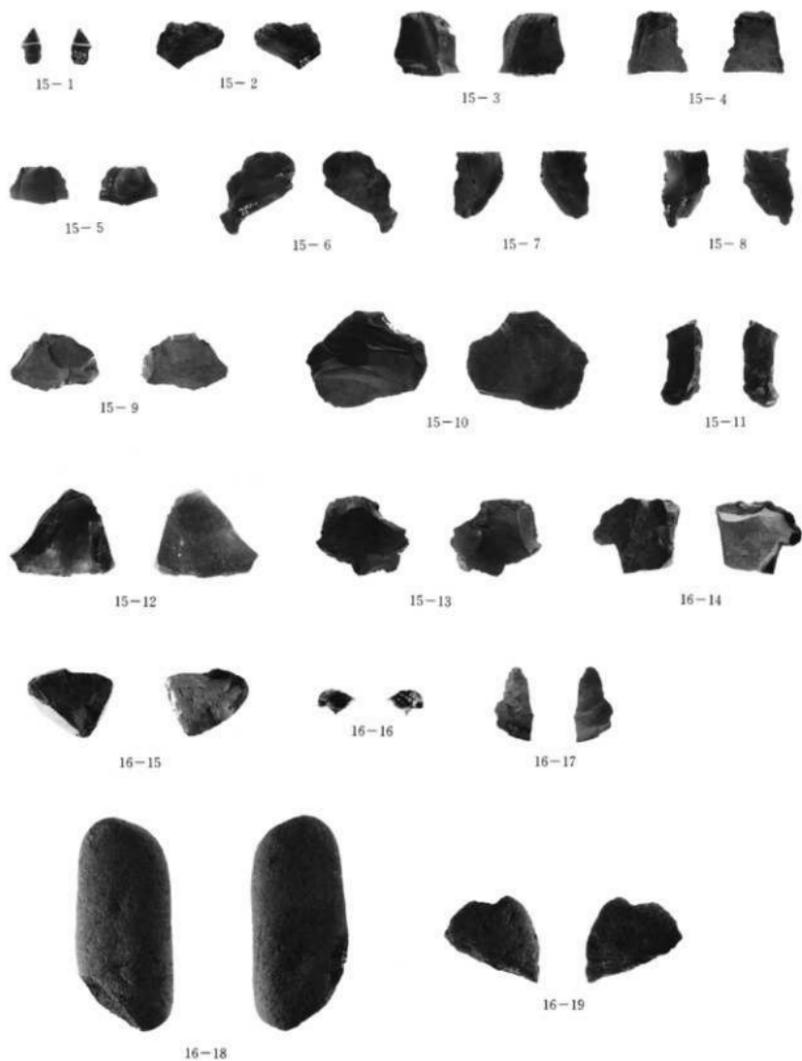


写真6 出土遺物(4)

報 告 書 抄 録

ふりがな		ねのやまいせき						
書名		根の山遺跡						
副書名		ふるさと農道緊急整備事業に伴う遺跡発掘調査報告						
巻次								
シリーズ名		青森県埋蔵文化財調査報告書						
シリーズ番号		第228集						
編著者名		佐々木雅裕・相馬 信吉						
編集機関		青森県教育庁文化課						
所在地		〒030-0801 青森県青森市新町二丁目3-1 TEL.0177-34-9921						
発行年月日		西暦1998年3月31日						
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東緯	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号	***	***		m ²	
根の山遺跡	青森県中津軽郡岩木町大字百沢字山田	02341	23005	40° 36° 9°	140° 18° 36°	19960507 19960524	270	ふるさと農道緊急整備事業に伴う事前調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
根の山遺跡		縄文時代 平安中世	配石遺構 溝跡	9基 3条	縄文土器 石器 土師器 珠洲系陶器		後期中葉十腰内Ⅱ・Ⅲ式を主体とし、その中でも関東の要素の強いものとしては北限となる注口土器が出土した。	

